

異国の文化を感じ交流深める

米国メイン州バス市訪問団派遣交流

団員を中学2年生以上に拡大し夏季日程で新たに



メイン州バルダッチ知事（中央）を表敬訪問



バス市役所屋上からの市中心街

米国メイン州バス市への訪問団が8月7日から8月19日までの日程で姉妹都市のバス市を訪問し交流を深めてきました。新しくなったバス市訪問交流事業は、市直轄事業として中学2年生以上の市民を対象とし、夏季日程での実施となりました。今年は中学生8名が標準派遣（13日間）、一般参加者2名が短期派遣（7日間）、計10名の参加者がバス市を訪れ、ホームステイやさまざまな交流プログラムを通して異国の文化について理解を深めました。

訪問団はバス市長表敬訪問をはじめとし、メイン州立海事博物館で姉妹都市となった歴史を学んだり、ホストファミリーと一緒にブルーベリー料理づくりに挑戦したり交流を図りました。また、バス市の子どもたちに英語を使って折り紙や書道を教え、日本の文化も紹介しました。最初は不安を抱えていた訪問団員もホストファミリーとの生活を重ねるごとに、コミュニケーションも進み、訪問終盤には異国の文化を心より楽しんでいました。



バス市役所にはつがる市の旗が



バス市でのチェスボロー水泳大会で力泳。参加者が計39km泳ぎ、チェスボローカップ水泳駅伝の積算距離に加えられる



バス市警察署前に記念植樹する松橋幸治団長

白老町訪問記



姉妹都市提携をしている北海道白老町の自然、文化、歴史に触れる「白老歴史にふれる旅」に市内の小学5年生41人が8月16日、18日と18日、20日の日程で参加し、姉妹都市について見聞を広めてきました。

白老町との交流は、白老町が白老村だった大正末期から昭和初期にかけて第3代白老村長を務めた平田源三郎氏が旧森田村出身で白老町発展のために尽力したことがきっかけとなり姉妹都市提携が実現しました。

児童たちは、仙台藩元陣屋跡で歴史を学んだり、アイヌ民族博物館（ポロトコタン）でさまざまなアイヌ文化を体験したり、白老町の児童とパークゴルフで交流を深めました。



アイヌ民族の住居の中で舞踊を体験

バス市訪問を終えて

「夏休みの宝物」 江良 和孝（木造）



バス市では多くの思い出ができました。まずホストファミリーと暮らした日々です。生まれて初めてロブスターを食べたり、子どもたちと会話やゲームを通して仲良くなりました。最初は緊張や不安でいっぱいでしたが、会話を繰り返すうちに緊張や不安がほぐれて自然と話せるようになりました。

食事の時でも、楽しく会話をかわせました。ジェスチャーや辞書を使って、話したいことを伝えました。改めて、文化や国が違っても、心が伝わっていることを実感しました。日本に帰る時、ホストファミリーの家族全員と抱き合い別れました。本当に涙が出るほど辛かったことを思い出します。今でも思い出すと涙が出ます。ホストのコインさんと会えるなら、また会いたいです。帰国して変わったことは、少食になったことと英語に自信がもてたことでした。ホームステイ先での思い出、初めて行った海外、僕にとっては、一生忘れられない夏休みの宝物となりました。

「成長」 三上 芽依（柏）



今回のホームステイで私は大きな目標がありました。それは、とにかく英語を少しでも話せるようになるということです。でも実際はそんな簡単なことではありませんでした。いざホストファミリーに話すとなると緊張してうまく話せませんでした。しかし、そんな時でもホストファミリーの家族の皆さんは、聞きとろうとしてくれて、

必死に私の話を聞いてくれました。そんなことが私にとってはすごく嬉しいことでホストファミリーには感謝しています。さらに今回のホームステイで私自身が大きく成長したことがあります。それは「伝える」ということの大切さと、積極的に行動したほうが絶対良い！ということです。英語が上手に話せなくても伝えるということ、伝えたいという気持ちはとても大切です。積極的に自ら行動していくと必ず物事は良い方向に転がります。

バス市に行ってホームステイをして本当に良かったと心から思っています。ありがとうございました。



ポップハムビーチを訪れ大西洋を満喫。海にはオットセイの姿も



英語を使ったゲームで交流を楽しむ



文化体験交流で書道を教える訪問団員



アイヌ民族博物館での記念写真



大自然の中でパークゴルフを楽しむ



ムックリ（口琴）作りを体験し演奏中

赤ちゃんの温もりから命の尊厳を学ぶ

柏中学校で赤ちゃんふれあい教室

思春期にある中学生。人間としての性を感じていくこの時期に生命の尊さを肌で感じ、父性、母性の意識を育んでもらおうと柏中学校では9月9日、3年生52人を対象に「赤ちゃんふれあい教室」を柏公民館で行いました。

同校では、平成11年度から命の教育の一環として総合的な学習の授業に本教室を取り入れており、自己や他人の生命を大切に思う気持ちや自分が誕生した時の親の喜び、子育ての大変さなどを体験学習しています。

生徒たちは、事前に沐浴人形を使って、赤ちゃんの抱き方、頭の支え方、寝かせ方などを保健師から指導を受け、本番に望みました。



ミルクやオムツの世話を体験



赤ちゃん言葉であやす女子生徒

この日、市内の赤ちゃんとお母さん21組が参加し、グループに分かれ赤ちゃんと対面。多くの生徒は最初、緊張した面持ちで赤ちゃんをおさるおそる抱きかかえていましたが、時間が経つにつれ、ミルクを飲ませたり、オムツを取り替えたり、おもちゃであやしたりするなど将来のパパ、ママを演じていました。

神遥華さんは「事前学習の人形とは違って赤ちゃんはともかわいくて柔らかかった。本当に貴重な体験ができた」。澁谷遼君は「僕たちがあやしても泣き止まないけどお母さんが抱くとすぐ泣き止むのでお母さんの力はすごいと思った」と感想を話しました。



赤ちゃんを大事に体重計にませ計測



将来のパパを演じる姿もなかなかさまになっています

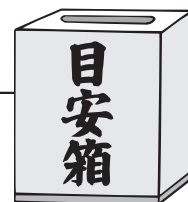
参加したお母さんの成田幸子さん（莊太ちゃん）は「育児って大変なことたくさんありますが、今日は楽しい部分を少しでも感じてもらえたら」と話し、三上真由恵さん（璃央ちゃん）は「親になって初めてわかった大変なこともあるけど、何でも相談できる人を一人見つけて将来子育てがんばってください」とエールを送りました。

赤ちゃんふれあい教室は今年度、市内3中学校で実施されました。



命の大切さ、親への感謝など多くのことを体感した赤ちゃんふれあい教室

市民の皆様から寄せられたご意見



市では、市民の声を市政運営の参考とさせていただくために、市役所、各支所、つがる市出張所（すまいるプラザ）に目安箱を設置しており、またホームページでもご意見を受け付けています。今回は平成22年6月から平成22年8月までに寄せられたご意見のうち、主なものをお知らせします。

主な意見	回 答 (担当課)
平成23年度から柏支所を廃止すると聞いたが、証明書の受領や税金の支払いが不便になるのでなくさないでほしい。	行政改革の一環として、平成23年3月末をもって森田支所・柏支所を廃止することとなりました。このことで市民の皆様が不便にならないよう、平成23年4月から、柏地区では出張所（すまいるプラザ）での取り扱い業務拡大、森田地区では森田郵便局での証明書交付ができるよう作業を進めております。また平成24年度からはコンビニエンスストアでも税金を納めることができるよう検討しているところですので、ご理解とご協力をお願いいたします。(総務課)
市役所内にベビーカーを設置してほしい。	近年、お子様がベビーカーに指を挟むという事故が発生しております。市役所においてもそのような事故が起こる可能性があるため、お客様の安全確保を考慮して市役所にはベビーカーを設置しておりません。ご了承願います。(管財課)
市役所にクーラーを設置してほしい。銀行や郵便局は快適なのに市役所はとても暑く、証明書発行の待ち時間がすごく長く感じられてとても息苦しかった。	今年の夏は百年に一度という記録的な猛暑が続き、市役所に来庁された方々には大変不快な思いをさせてしまったこととお詫びいたします。来庁される市民の皆様のためにも、冷房設備の設置については重要課題として今後検討してまいります。(管財課・総務課)
防災無線は緊急用に放送するものだから、広報紙に掲載しているようなお知らせを放送すべきではない。	ご指摘のとおり、広報紙に掲載している内容と重複した一般的なお知らせであっても、防災無線により放送することがあります。しかしながら、繰り返しお伝えしたい情報もあることから、今後は放送回数の削減を検討してまいります。(総務課)

以前に掲載した同様のご意見については掲載しておりませんのでご了承ください。また、寄せられたご意見に対しましては、可能なものから速やかに実施する体制をとっております。

引き続き、市民の皆様の市政に対するご意見をお待ちしております。

【問い合わせ先】 総務課 電話42-2111（内線342）

森田支所、柏支所の廃止に伴う住民説明会を開催します

市では合併以来、各種事務事業の見直しや各施設の民営化、職員数110名の削減などにより行政改革を推進してまいりました。しかし、少子高齢化の進行や地域経済の低迷などにより、今後も国・地方財政においてはさらに厳しさを増すものと思われます。

そこで、平成22年5月つがる市行政改革推進本部において第二次行政改革大綱を策定し、多種多様な住民ニーズへ対応するための行政サービス改革やより柔軟で的確な行政運営を実行するための組織・職員の改革、最小経費で最大の効果をあげられるよう財政運営の健全化を進めていくこととしております。

合併以降職員数は年々減少し、さらに効率的な行政運営を行う必要があります。そのため、森田支所及び柏支所を平成23年3月末日で廃止することといたしました。

つきましては、市民の皆様からのご理解を賜りますよう、下記の日程で住民説明会を開催いたします。

また、出張所の業務拡大や郵便局での証明書交付、コンビニ収納などの今後開始予定のサービスについても説明いたしますので、多数の方々に出席くださるようお願いいたします。

<説明会日程>

森田地区	11月1日（月）	午後6時から	会場	つがる市森田公民館
柏地区	11月2日（火）	午後6時から	会場	つがる市柏公民館

【問い合わせ先】 総務課 電話42-2111（内線349）